等語意识

日和田小学校 第5学年 学年だより 第2号 令和4年4月8日発行

「おはようございます!!!」

今年度の初日、子どもたちが登校してすぐの朝の会。担任が子どもたちに、「おはよう ございます。」と普通の大きさであいさつをすると・・・

「おはようございます!!!」

と、元気な明るいあいさつが返ってきました。

もしかしたら、この文章を読んで、「5年生なんだから、あいさつを返すくらい当たり前でしょう」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、この3日間で私たち担任は、様々な場面でこの学年の子どもたちの「当たり前のレベルの高さ」を感じました。「当たり前」と思われていることを当たり前のように実行することができるのは、子どもたちがこれまでの学びを積み重ねている証拠、また保護者の皆様が協力してくださっている証拠です。改めて、感謝するとともに、その当たり前のレベルをもっと高めていきたいと思いました。



本来であれば、4月の懇談会等で、学年経営の方針等をお話させていただきたかったところですが、このような状況ですので、この学年だよりを通して、少しずつお伝えしていければと思います。



信頼関係を築くことができる

教師と児童、教師と保護者、児童と児童、児童と保護者

学年経営のイメージ図です。左のような子どもたちを育てていきたいと考えています。今号では、3つの柱を支える土台となる「**信頼関係を築くことができる**」についてお伝えいたします。

子どもたちに話したことは単純です。「正直でいること。 嘘をつかないこと」です。どんなに能力があっても、どん なに努力していても嘘をつく人のことを信頼できるか? と話しました。

保護者の皆様にお伝えしたいこととして・・・

子どもたちの生活の基盤は、家庭と学校です。その中で、 子どもたちは育っていきます。<u>教師と保護者が同じ方向を</u>

向いて、手を携えて、子どもたちに関わっていくことができれば、必ずよりよい成長につながると思うのです。かと言って、どんな考え方をしている教師かもわからないのに、いきなり「信頼してください」と言われても、信頼できないと思います。少しでも信頼していただくことができるように努めてまいります。

また、我々教師の考え方が絶対とも思っておりません。きっと保護者の方の思いもあるかと思います。 保護者の思い、教師の思い、そして子どもたちの思いをすり合わせながら、少しずつ一枚の絵を描いていけたらと思っております。そのためにも、保護者の皆様のお言葉をいただけたら、うれしく思います。 保護者の皆様の教育に関する思い、最近のお子さんの様子、何でも構いません。一言でも、長文でも、下の記入用紙でも、チラシの裏でも・・・その言葉一つひとつが我々の教師の励みにもなりますし、保護者と教師の思いの違いに気づくきっかけにもなります。お時間があればで構いません。どうぞよろしくお願いします。

<保護者だより>